

監査における『ビジネスと人権』・ESG・ガバナンス等との向き合い方

日時 2026年10月2日(金) 10:00~17:00 (6H)

参加方法 オンライン参加：ZoomによるLive配信

講師 日本マネジメント総合研究所合同会社 理事長
公認不正検査士 (CFE) 日本ハッカー協会会員
戸村 智憲 氏



お申込ページはこちら

対象 監査役、内部監査部門、リスク管理部門、総務部門、内部統制部門、
コンプライアンス・CSR部門、監査法人、監査系コンサルタント、ISO部門など

開催にあたって

ガバナンスをサクッとわかりやすく説明できていますか？「ビジネスと人権」で実務的に把握できていますか？揺れ動く世界で、監査人がどのような観点で物事に接し、どう監査活動を進めていけば良いか悩みが尽きない昨今。

一見してバラバラに見えそうな経営課題や法令対応やさまざまな物事をときほぐし、監査人が呆然としそうな迷宮に、進むべき道と方向性を中学生・高校生にもわかるくらい噛み砕いて押さえておければ安心です。

そこで、社会で求められる「ビジネスと人権」・ガバナンス・ESGなどについて、「公益監査」を軸にした観点から世情や監査対象事項を体系的に読み解き、実りある監査活動へのポイントをわかりやすくお届けします。

学習指標

- ① ガバナンスや「ビジネスと人権」を監査人としてわかりやすく把握する
- ② 数多く散在して見える法令対応・監査対象をシンプルに体系的に理解する
- ③ ガバナンスや「ビジネスと人権」を進めるための「公益監査」の理解する

■参加料 (1名様) ※テキスト・資料代などを含みます。

- ◇ 日本経営協会会員 (1名) : 34,100円 (税込)
- ◇ 一般 (1名) : 41,800円 (税込)

■キャンセルについて

会場参加 : 開催日の3営業日前～前日のキャンセルは参加料の30%、開催当日のキャンセル・ご欠席は参加料の100%を申し受けます。

オンライン参加 : 開催日の5営業日前～当日のキャンセル・ご欠席は参加料の100%をキャンセル料として申し受けます。

■オンライン参加について

- ・セミナーの録音、録画、映像のスクリーンショット等は固くお断りしております。また、自ら又は第三者を通じて、セミナー動画およびテキスト・資料の転載、複製、出版、放送、公衆送信その他著作権、知的財産権を侵害する一切の行為をしてはならないものとします。
- ・本セミナーにお申込み登録をいただいていない方のご受講は固くお断りしております。

■その他

参加者が少数の場合、天災、その他の不可抗力の場合などにおいては、中止・延期させていただく場合があります。

■受講お申込み方法

★2026年度からのNOMAセミナー申込が変わります！
※研修管理システム「manaable(マナブル)」を導入！

★セミナー申込までの流れ

- 1 本会HP (noma.or.jp/)、またはmanaableのNOMA専用サイト (noma.manaable.com/) にアクセス
- 2 ご希望のセミナーを検索
- 3 manaableから「セミナー申込」
※初回の方は「ご担当者登録」「企業・団体登録」の後にお申込みの流れとなります。
- 4 お申込み後、manaableサイト内で申込状況等の確認が可能
※本会にて申込内容を確認 (通常、0～2営業日内) 後、ステータスが「承認」となり受講確定となります。
※ZoomURL等、受講に必要な情報もmanaable上でご確認いただけます。
※受付確認メール、参加券、また請求書の紙面発行はなくなりました。
※請求書、領収書は、manaableサイト内からPDFダウンロードいただけます。

監査における『ビジネスと人権』・ESG・ガバナンス等との向き合い方

プログラム内容

1. 社会に求められるビジネス・運営への

「公益経営」と「公益監査」

- ・「ビジネスと人権」・ESG・ガバナンス等の動向と「公益監査」の必要性
- ・ガバナンスをズバッとわかりやすく読み解く戸村版の早わかり解説
- ・「ガバナンス ≠ 無理やり抑え込んで従わせる」：自然とできる仕組みをつくる
- ・「公益監査」は利益至上主義でOK：「公益」の促進を通じた利益の追求
- ・要するに「公益監査」とは何なのか？どうすれば良いのか？
- ・会計監査・適法性監査・業務監査・社会監査等を束ねる「公益監査」への転換
- ・安易な社外役員の活用より「公益取締役」「公益監査役」で健全化を目指す
- ・「健全に儲け続けるための仕組み」としての公益経営と公益監査
- ・「ビジネスと人権」で監査人が押さえておくべきポイント
- ・ESGで監査人が押さえておくべきポイント

2. 本質的な理解を応用して物事を体系的に

とらえる

- ・ガバナンスを実現するための内部統制とその整理
- ・ガバナンスや「ビジネスと人権」や「公益監査」の共通視点でバラバラに見えがちな問題をサクッと整理する：
- ①株主代表訴訟・株主総会・説明責任・情報開示等
- ②企業価値向上・利益至上主義・善悪問わぬ「合理主義」等
- ③フィデューシャリーデューティー（受託者責任）等
- ④善管注意義務・結果予見義務・結果回避義務・忠実義務・任務懈怠等
- ⑤「ビジネスと人権」・労働法・安全配慮義務・労働安全衛生等
- ⑥インサイダー取引や営業秘密や不正競争防止法等
- ⑦談合・カルテル・独占禁止法・贈収賄・公正性等
- ⑧横領・偽装・偽造・隠蔽・研究不正等

- ⑨人事権・解雇権・圧迫面接・メンタルヘルス等
- ⑩ハラスメント対策（セクハラ、パワハラ、カスハラ）等
- ⑪離職問題・人手不足問題・コネ縁故入社等
- ⑫育休/産休/介護休業・ダイバーシティ対応・合理的配慮等
- ⑬消費者保護・知的財産権の保護・プライバシーとデータ利活用等
- ⑭生成AI・DX推進・コスト削減や効率化・サイバーリスク対策等
- ⑮防災/減災/事業継続・リスク管理・危機管理等・不祥事対策等
- ⑯サステイナブルな経営・環境保護・監査人に求められる役割等

3. 監査人が押さえておきたい主なポイント

- ・「ビジネスと人権」やESGなどの原点：世界人権宣言・国際人権規約などのエッセンス
- ・CSR・CSV（Creating Shared Value）経営・ESG等への移り変わり
- ・要するに「本業を通じた社会問題の解消アプローチ」ということ
- ・コーポレートガバナンス・コード（CGコード）と公益監査の視点
- ・人権対応の基本的ステップと公益監査の視点
- ・サプライチェーン全体での人権デューデリジェンス（人権DD）のポイント
- ・「ビジネスと人権」で重要なグリーバンスメカニズム・公益通報者保護制度の要点

4. 質疑応答

- ・本セミナー内容やそれ以外のことでも、厚意の範囲・無理ない範囲で、ご受講者さま専用ご質問ウェブフォームにてお悩み相談を承ります。

※本セミナーの指導項目・内容などについては、最新の動向などをより良くお届けできるよう、事前の予告なく増補・補足・改訂・修正・変更などを行う場合がございます。予め悪しからずご了承下さいませ。

講師プロフィール

早大卒。米国MBA修了時に学業評価/人物審査で学長推薦にて全米トップ0.5%のみに授与される全米優秀大学院生を受賞。米国Ph.D博士後期課程中退。

国連勤務にて、国連内部監査業務の専門官、国連戦略立案専門官リーダー、ESG・「ビジネスと人権」関連の普及啓発・広報業務などを担当。退官後、学術では、経営行動科学学会理事や岡山大学大学院非常勤講師など、経営ではJ A長野中央会の顧問、上場IT企業JFEシステムズのアドバイザー、IT商社(株)アシストの顧問や、業界団体の会長・役員などを歴任。テロ対策指導で警察本部より感謝状受領。

元・Google社長との国際会議場でのAI特別対談や、世界初でのリスク管理指標「KRI」「KCI」や東日本大震災前から世界初でクラウドの災害対策活用モデル「危機管理型クラウド」の開発・学会発表・普及啓発にも尽力。弁護士・公認会計士・医師・看護師などプロの専門家/士業を指導するプロとしても活動。

著書34冊。代表作に『企業統治の退廃と甦生』（中央経済社）など。NHK「クローズアップ現代」TV出演や、日テレ日曜ドラマ「ブラッシュアップライフ」に主演の安藤サクラさんとセスナの教官役でのドラマ共演・航空監修など、TV・ラジオ・寄稿連載など多数。

日本マネジメント総合研究所合同会社 理事長
公認不正検査士（CFE） 日本ハッカー協会会員

とむら ともりの
戸村 智恵氏



メールマガジンのご登録



新規講座や申込を開始したセミナーを定期的にご案内しております。ご興味のある方はぜひご登録をお願いいたします。

登録はこちら⇒



メールマガジン登録用QR

★研修管理システム「manaable(マナブル)」を導入！

お申込みや事務処理の迅速化、ペーパーレス化を目的として、お客様自身で管理できる研修管理システム(マナブル)を導入いたしました。

詳細はこちら⇒

